

# 浜田林業部トピックス(4月号)

## TOPICS 1

## 森林保全巡視指導員を委嘱しました

4月8日(木)、今年度の「森林保全巡視指導員」9名に委嘱状を交付しました。「森林保全巡視指導員」は、パトロールを行う森林に精通し、さらにパトロール業務を行うにあたり必要な知識・技量を有し、かつ森林保全管理に対し熱意を持っていらっしゃる方に対して、西部農林水産振興センター所長が委嘱するものです。

今後、1年を通じて、森林法に基づく保安林の管理に関する指導や自然災害の早期発見、山火事防止の指導など、森林保全管理に関して多岐にわたる活動を行っていただきます。

委嘱状交付の後、事務打合せを実施し、改めて森林保全巡視指導員の服務規程や、巡視時の留意事項について確認しました。また、令和2年度の巡視員の方々からいただいた巡視報告結果、西部管内の保安林標識設置状況や、疑問・課題について意見交換を行いました。

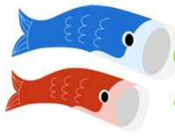
今後も引き続き、巡視員の方々と一緒に地域の森林を保全していきます。



委嘱式の様子



打ち合わせ会議の様子



# 浜田林業部トピックス(5月号)



ほし

## TOPICS 1

## 第18回いわみ中央乾椎茸品評会が開催されました

5月20日(木)に浜田市黒川町のJAしまねいわみ中央地区本部「ふれあいホール」において、第18回いわみ中央乾椎茸品評会が開催されました。この品評会は、浜田地域の乾椎茸の品質向上、規格の統一、生産意欲の向上等を目的に島根県農業協同組合いわみ中央地区本部の主催で毎年実施されています。

今年は、強い寒波による積雪があった一方で、気温の上昇が早かったことなどの気象的要因により、例年以上に栽培への苦勞が見て取れました。出品数は箱物(JA全農規格箱)7点、普通物(目安700g)30点であり、一昨年と比較すると箱物で2点の増加、普通物で1点の減少となりましたが、自然相手の厳しい作業条件の中、良品の乾椎茸が多く出品されました。

品評会前日に、当センターとJA等が傘の形状や大きさのそろい具合等をポイントに審査を行いました。結果、箱物の部では笹後 貞夫氏が最優秀賞に選ばれました。笹後氏の出品された「茶花どんこ」は、傘の巻きや形状、亀裂の色彩が均一な点が高く評価されました。普通物では奥本一徳氏が最優秀賞に選ばれました。奥本氏が出品された「こうしん」は、大きさがそろっており、ひだの色目が特に均一な点が高く評価されました。

また、当日は毎年の恒例行事となっている乾椎茸の詰め放題が同時開催され、袋いっぱい椎茸を詰める光景が見られ大変賑わいました。



最優秀賞を受賞する笹後 貞夫さん(箱物)



最優秀賞を受賞する奥本一徳さん(普通物)



詰め放題の様子





# 浜田林業部トピックス(6月号)



## TOPICS 1

## 山地災害防止キャンペーン期間に合わせて治山施設を点検

6月15日(火)、江津市桜江町地内において、治山施設点検を行いました。

5月20日～6月30日は山地災害防止キャンペーン期間として、全国的に山地災害を未然に防止する活動を積極的に実施することとされています。このため、キャンペーン期間に合わせて山地防災ヘルパー、(一社)島根県森林協会、当センターの調査計画スタッフ及び森林保全課が合同で山地災害危険地区内の治山施設について点検を行いました。



点検対象の治山ダムと周辺森林を遠望



山腹工(法枠工)を点検中

この日点検した治山施設には、機能を低下させる大きな損傷などは確認されませんでした。周辺森林にも倒木や落石の発生など目立った荒廃の兆候はなく、健全度が高い施設群だと考えられました。今後とも計画的に治山施設の点検を進めていきます。

### < 治山施設点検とは? >

治山施設は山崩れや地すべり、土石流などから人家などを守るための施設で、溪流に設置される治山ダム、山腹に施工される法枠や土留め、落石防護柵などがあります。

治山施設点検とは、治山施設の健全度や施設周辺の森林の荒廃状況等を把握するために行う調査で、個別の施設ごとに約10年間に1度のペースで行っています。施設の劣化状況を把握し、維持管理・更新等を適切に実施することで、施設の長寿命化を目指します。

### < 山地災害危険地区とは? >

山地災害危険地区とは、山崩れや地すべりなどにより、人家などに直接被害を与えるおそれのある地区で、地形・地質特性からみて危険度が一定基準以上のものを把握したものです。

山地災害危険地区には、「山腹崩壊危険地区」、「崩壊土砂流出危険地区」、「地すべり危険地区」の3種類の区分があります。

- ・山腹崩壊危険地区 : 山斜面の崩壊により直接的な災害が発生するおそれのある地区
- ・崩壊土砂流出危険地区 : 土石流によって土砂が流出し、災害が発生するおそれのある地区
- ・地すべり危険地区 : 地すべり現象により災害が発生するおそれがある地区

県内の山地災害危険地区は、「マップonしまね」というインターネット地図で公開されています。あらかじめ、山地災害のおそれのある危険な箇所を知っておき、避難場所やルートを確認しておきましょう。

→ 検索  アドレス <https://web-gis.pref.shimane.lg.jp/shimane-sp/>  
サイトに入ってから、「森林・鳥獣・農林水産業」を選択

令和3年6月18日、浜田市立金城中学校にて、クマについての出前授業を開催しました。クマに出会った時の対応方法について学校から出前授業の依頼を受け、全校生徒約100名を対象に実施したものです。同校で3年続けての開催となり、クマとの遭遇時の注意点を覚えている生徒も増え、クマに関する正しい知識が浸透しつつあります。

また、今回はクマを人里に近づけないための対策（環境整備）について、金城町での取り組み事例を紹介し、身近な問題としてとらえられるような内容としました。生徒の皆さんは地域の取り組みを熱心に聞き入っていました。

今日からすぐ出来るクマの被害にあわないための「クマから身を守る方法」だけでなく、長期的にみた「クマを人里に近づけない対策」について考える機会になったのではないのでしょうか。



クマと出会った時の対応方法を説明

<リーフレット クマの被害にあわないために>

ツキノワグマの生態や出会わないための注意点、出会った時の対応方法が記載されています。

→ 島根県HPサイト内検索

クマ リーフレット

アドレス：[https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujyu\\_taisaku/kuma\\_higaitaisaku.data/kumatirashi.pdf](https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujyu_taisaku/kuma_higaitaisaku.data/kumatirashi.pdf)



# 浜田林業部トピックス(8月号)

## TOPICS 1

## 台風9号の大雨による土石流の発生現場を確認

8月10日(火)、江津市桜江町において、台風9号による大雨の影響で土石流が発生した現地を確認しました。



土石流によって被災した市道と水田



市道の被災状況(左の写真の中央部)



被災前の状況(5月)



昭和23年施工の古い石積み  
(写真中央は流木の丸太)



左の写真の石積みがあった場所

この現地は上流部が「崩壊土砂流出危険地区」にあたります。まだ、戦後間もない昭和23年に古い石積みの床固工などの治山施設が作られており、今年5月に点検に訪れていました。

江津市桜江町では、この台風による累計雨量が300mmを超えており、山の斜面から崩れた土砂や谷の土砂や石などが、大雨によって水と一緒に一気に押し流されたものと思われます。

近くの住民の方の話では、土砂が流出したのは大雨の最中ではなく、雨の勢いが弱まった9日の昼頃になってからとのこと、雨が止んでも一定期間は山地災害の警戒が必要です。

自然災害の猛威を目の当たりにし、日頃から山地災害に備えておく重要性を再認識しました。

### ※崩壊土砂流出危険地区(土砂流出区域)

山地災害危険地区の一つで、土石流によって土砂が流出し、災害が発生するおそれのある地区。このほか、山地災害危険地区には「山腹崩壊危険地区」、「地すべり危険地区」があります。

県内の山地災害危険地区は「マップonしまね」というインターネット地図で公開されています。あらかじめ、山地災害のおそれのある危険な箇所を知っておき、避難場所やルートを確認しておきましょう。

→ 検索

マップonしまね

アドレス <https://web-gis.pref.shimane.lg.jp/shimane-sp/>  
サイトに入ってから、「森林・鳥獣・農林水産業」を選択



# 浜田林業部トピックス(9月号)

## TOPICS 1

## 美味しまね認証取得に向けた現地審査会の実施

9月14日(火)、美味しまね認証取得に向けた現地審査を、有限会社岡村工務店(浜田市旭町)が受けられました。

有限会社岡村工務店は地域貢献を理念としており、女性の雇用の場創出を目的に、令和元年よりキクラゲ栽培事業を立ち上げられました。消費者に安心して安全な製品を提供したい、作業員に安心して安全な商品を作っている自負をもってもらいたいという考えから、美味しまね認証の取得を目指して取り組みを始められています。

この度の現地審査では、栽培施設、集出荷施設いずれも衛生的に管理されている事が評価されました。今後、10月21日に審査委員会にかけられ、認証取得の可否が示されます。

地域の方と共に作られたキクラゲは直産市場などで販売されており、認証シールが貼られた商品が並ぶのを楽しみにしています。



美味しまね認証現地審査の様子



生産されているアラゲキクラゲ

### 美味しまね認証とは？

「美味しまね認証」は、農産物などが、食べ物の安全、環境や働く人を守ることに配慮し生産されていることを認証する島根県独自のGAP※認証制度です。

島根県では、県内の生産者がGAPの取組を通して持続可能な農業経営ができるよう、この「美味しまね認証」の取得支援を行っています。

※GAP (Good Agricultural Practice：農業生産工程管理)

農業における生産工程管理の取組。食品の安全確保、環境保全、労働安全、人権・福祉などの観点から、管理項目を定め実施、それを記録、検証して、より良い農業生産を行うこと。

GAP認証は農業経営改善のための手法であり、安全・安心な農産物生産の証でもあります。



美味しまね認証マークの一例(美味しまね認証製品の目印)

美味しまね認証マークは、「美味しまね認証」を取得した農場で生産された島根県産農林水産物に使用できるマークです。買物で農林水産物を選ぶ時の参考にしてみてください。

# 浜田林業部トピックス(10月号)



## TOPICS 1

### 建築を専攻する学生の皆さんを対象に 林業体験会を開催しました！

10月21日(木)、江津市にあるポリテクカレッジ島根 住居環境科の学生20名及び江津工業高校 建築コースの生徒14名を対象に、林業体験会を開催しました。

この体験会は建築を専攻する学生の皆さんに「家づくり」に必要な「木材」について知識を深めてもらうことを目的に例年実施しています。

当日は、浜田市弥栄町のふるさと体験村で、当センター職員から森林や木材に関する基礎知識とチェーンソーの使い方を説明したあと、実際にチェーンソー作業を体験してもらいました。次に近くの播磨屋林業(株)の伐採現場へ移動し、高性能林業機械(ハーベスタ、フォワーダ)の作業を見学・体験してもらいました。最後に、浜田市治和町にある島根合板(株)浜田針葉樹工場では、丸太から合板が製造されていく過程を見学してもらいました。

参加した学生の感想文を読むと、特に高性能林業機械の操作や合板の製造に興味を持った様子でした。今後、木材を使った家づくりに取り組む上で、貴重な経験になったのではないのでしょうか。また、今回の体験会が将来の仕事の選択肢の一つとして、「林業」を考えてもらうきっかけになれば幸いです。



チェーンソー作業の体験



伐採現場の見学

## 高性能林業機械とは？

2つ以上の作業を1つの作業機で行うことのできる林業機械のこと。  
労働の負担の低減・作業の効率化に優れています。

**ハーベスタ**…立木を伐倒・枝払い・測尺・玉切する自走式機械。  
伐倒から造材まで、これ1台！

**フォワーダ**…玉切りした丸太をグラップルクレーンで荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。

その他、プロセッサ、スイングヤーダ等の高性能林業機械があります。  
ぜひお持ちのスマートフォン等で調べてみてください！！



ハーベスタ(harvester)



フォワーダ(fowarder)



# 浜田林業部トピックス(11月号)

## TOPICS 1

### 鳥獣保護管理員の笠柄正道さんに 環境省から感謝状が贈呈されました！

#### ・ 環境省から感謝状贈呈

この度、鳥獣保護管理員として長年活動されている笠柄正道さんが、その活動の功績が認められ、環境省自然環境局長から感謝状が贈られました。これを受けて10月末に西部農林水産振興センターが伝達式を執り行い、林業部長から感謝状を伝達しました。

#### ・ 笠柄さんの活動の功績

笠柄さんは平成15年から現在にいたるまで、17年にわたり鳥獣保護管理員として活動されています。鳥獣保護管理員の活動内容は、鳥獣保護区等の巡視・狩猟の違反取締り・鳥獣に関する調査等多岐に渡ります。

また、笠柄さんは40年以上の猟師経験を生かして、獣害で困っている地域住民からの相談にも対応されており、対策指導等を通じて、「人と野生鳥獣との共存」に向け積極的に活動されています。さらに、地域の鳥獣の出没や被害の発生状況についても、定期報告に加えて随時連絡してくださり、迅速な対応につながっています。

#### ・ 鳥獣保護管理員の役割

鳥獣保護管理員の多くは各地域で生活され、担当エリアで長年活動されています。このため、鳥獣の出没動向の変化だけでなく地域の状況変化も長いスパンで把握されており、地域の実状に合わせた鳥獣行政を行う上で大切な役割を担っています。

これからも笠柄さんをはじめ、他の鳥獣保護管理員の皆さんとも協力をしながら、野生鳥獣の保護・対策を進めていきます。

#### 鳥獣保護管理員とは？

都道府県から委嘱され鳥獣保護管理事業の実施に関する事務を補助します。  
浜田管内では6名の鳥獣保護員が毎月担当のエリア内の巡視等を行っています。

主な活動内容：狩猟の違反取締、鳥獣保護区等の巡視、標識の管理、  
鳥獣の生息状況等に関する調査、鳥獣保護管理に関する助言・指導、  
環境教育の推進普及啓発等



林業部長から環境省の感謝状を伝達



笠柄正道 氏



# 浜田林業部トピックス(11月号)

## TOPICS 2

## きのこでの美味しまね認証 浜田管内第1号！

令和3年10月21日、有限会社岡村工務店が浜田管内で初めて林産物（きのこ）区分での美味しまね認証を取得されました。

同社は女性の雇用の場創出などを目的に、令和元年からキクラゲ栽培事業に取り組まれています。消費者に安心して安全な製品を提供したい、従業員に誇りをもって仕事をしてもらいたいという思いから、同社が美味しまね認証取得に向けて日々取り組まれるなか、このたびその努力が実を結びました。

認証を取得してからも、生産責任者の拝上理恵さんは、より良いものをより多くの方に届けたいという思いで、キクラゲの普及や加工品の開発に取り組むなど、精力的に活動されています。

今回の同社の認証を転機として、浜田管内きのこ生産者の皆さんの美味しまね認証取得への意識が高まっていくことを期待しています。

(林業部トピックス9月号でも同社を紹介しています。あわせてご覧ください！)



浜田地域林業普及課長から認定証を進呈



生産責任者の拝上理恵氏

### 美味しまね認証とは？

「美味しまね認証」は、農産物などが、食べ物の安全、環境や働く人を守ることに配慮し生産されていることを認証する島根県独自のGAP※認証制度です。

島根県では、県内の生産者がGAPの取組を通して持続可能な農業経営ができるよう、この「美味しまね認証」の取得支援を行っています。

※GAP（Good Agricultural Practice：農業生産工程管理）

農業における生産工程管理の取組。食品の安全確保、環境保全、労働安全、人権・福祉などの観点から、管理項目を定め実施、それを記録、検証して、より良い農業生産を行うこと。

GAP認証は農業経営改善のための手法であり、安全・安心な農産物生産の証でもあります。



美味しまね認証マークの一例（美味しまね認証製品の目印）

美味しまね認証マークは、「美味しまね認証」を取得した農場等で生産された島根県産農林水産物に使用できるマークです。買物で農林水産物を選ぶ時の参考にしてみてください。



# 浜田林業部トピックス(12月号)



## TOPICS 1

## 浜田市立弥栄小学校で「クマ出前授業」を行いました！

### ・弥栄小学校でクマの授業

令和3年12月10日に弥栄小学校3、4年生を対象にクマについての出前授業を行いました。これは社会科の授業の一環として小学校より依頼を受けたもので、西部農林水産振興センターの鳥獣専門調査指導員が講師を務めました。

授業内容はクマの生態を中心に、人里に出没する要因や対策、クマに出会わないための注意点等としました。むやみにクマを怖がるのではなく、正しく理解し、気をつけてもらえるよう内容を組み立てました。

### ・授業を受けた子どもたちの反応や感想

授業中の子どもたちは、クマの得意な事や苦手な事を説明する度に驚きの声をあげたり、クマを見た時の経験を話したりするなど積極的に参加していました。

また、剥製や毛皮に触れた際には、「毛が柔らかくて気持ちいい！毛皮の上で寝てみたい。」、「本当に白い模様（月の輪）があるんだ！」などの感想が聞かれ、様々な発見があった様子でした。

授業の感想文には「子グマには近づいてはいけないということが分かった」、「甘い物が大好きなのでクマが来る前に植えている物を全部とって食べる」、「クマは人を襲うために来ているのではなく、ご飯を食べに来ていることがわかった」など数多くのコメントが書かれており、授業内容が強く印象に残ったようでした。

### ・今後の当センターの活動について

弥栄町内にはクマが生息するエリアも含まれ、安全安心な生活を送るためにはクマについての正しい知識を持つことが必要だと考えます。

当センターでは今後も野生動物と人との「すみわけ」を進めるため、防除対策事業や捕獲対応だけでなく、今回の出前授業のような普及啓発活動も行っていきます。



#### <授業の様子>

積極的な発言がありました。



#### <クマの毛皮に触れる子どもたち>

触り心地の良さに驚いていました。